

地域医療介護連携ネットワークシステム（EHR）

横須賀・三浦・逗葉・鎌倉 2次医療圏と周辺地域

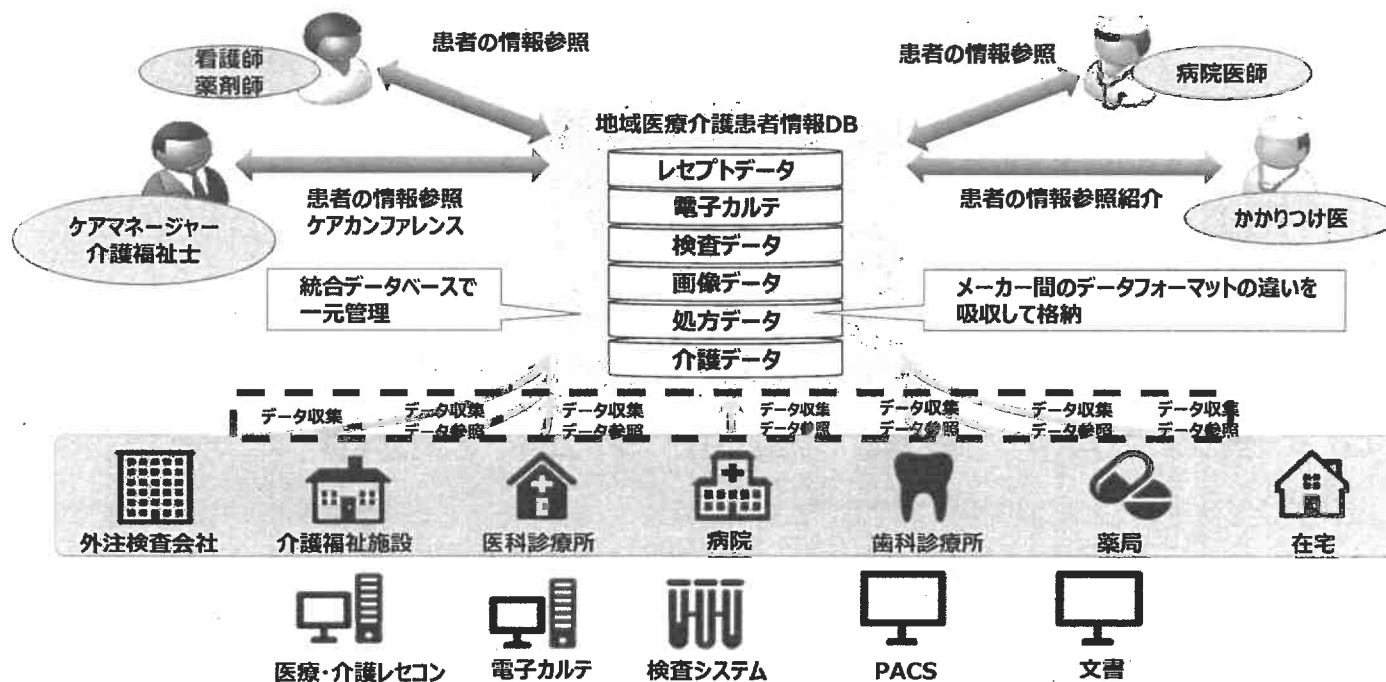


さくらネットの紹介

地域医療連携システム（EHR）とは

地域医療連携システム（EHR）とは「**Electronic Health Record**」の略称。

- ・電子健康記録や生涯医療記録とも呼ばれる
- ・検査歴、既往歴、処方・調剤歴など、参加施設間で共有する仕組み。



病院・診療所・介護等のレセコンなど各種システムに保存されているデータをクラウドに集め、参加施設間で相互に参照することで情報連携を実現

地域医療連携システム（EHR）のメリット

医療の質の向上

とくに高齢の方は、複数の医療機関を受診することが少なくありません。医療機関同士の情報共有により、病状の早期把握やそれに合った処方薬の選択など、**より精度の高い医療を提供**できるようになります。

業務の効率化

前方、後方施設の情報共有・参照、地域連携パス、検査予約など紙ベースでの運用を行っている業務を地域医療連携システム上で行うことにより**現行業務の効率化を図る**ことができます。

多職種での情報共有

参加施設間での情報共有をベースに、安全なチャット機能、メール機能などを利用することで、**患者情報の継続的な共有、多職種での連携促進を図る**ことができます。

例) 医者⇔訪問看護師⇔ケアマネージャによる、退院後の在宅患者の見守りなど

Dxの具体策：地域医療ネットワークの構築

他施設の医療・介護情報を自動的に共有することで、診察にかかる手間を省き、重複検査・投薬をなくします。
患者は治療経過を詳細に把握してもらうことで、適切な医療・介護を受けることができます。
電子処方せんなど国が進める医療Dxへも対応していきます



※ EHR:地域医療ネットワーク